

わ

が

街

わ

が

故

郷

平和発條株式会社 滋賀工場と甲賀忍者の里

会社の紹介

〈所在地〉

平和発條株式会社 滋賀工場

〒520-3321

滋賀県甲賀市甲南町葛木 2 番地

TEL 0748-86-6031



滋賀工場

〈会社の沿革〉

昭和45年（1970）4月

平和発條株式会社の止め輪の専門工場として
甲賀郡（現甲賀市）甲南町に平和精機株式会
社設立

昭和45年（1970）12月

第一工場（止め輪工場）建設

昭和54年（1979）12月

第二工場（成形工場）建設

平成元年（1989）4月

第三工場（圧延工場）建設

平成13年（2001）7月

ISO9002:1994の認証をJQAより取得

平成15年（2003）8月

ISO9001:2000の認証をJQAより取得

平成15年（2003）11月

平和発條株式会社に吸収合併して、平和発條
株式会社滋賀工場と改称

現在、滋賀工場では、大手ベアリング、自動
車、建設機械各社から等速ジョイント用精密止
り輪、自動変速機用非真円精密止め輪、建築機
械用ウェーブスプリング等を受注生産していま
す。

当工場の特徴は、止め輪用の異形線の圧延加
工から表面処理まで一貫した品質管理と納期管
理で生産しています。

忍者の町 甲賀市

〈位置と地勢〉

甲賀市は滋賀県東南部に位置し、大阪・名古
屋から100キロメートル圏内にあり近畿圏と中
部圏をつなぐ広域交通拠点に位置しています。
その東南部は、標高1000mを超える山々が連な
る鈴鹿山脈により、西南部は信楽盆地とこれら
に続く丘陵性山地により京都府ならびにライバ
ル？忍者の町、三重県伊賀市に接しています。



甲賀市の位置

交通網はJR草津線が地域を横断し、JR草津線貴生川駅を起点として近江鉄道本線・信楽高原鉄道があります。道路網は主要幹線道路として国道1号及び主要地方道草津伊賀線が地域を横断し、また国道307号線が地域を横断する広域交通拠点です。甲賀地域及び周辺地域の新しい交通基盤としては、第2名神高速道路やびわこ京阪奈線が計画されており、特に第2名神高速道路は平成19年の供用開始に向けて、その工事が順調に進められており、市内には甲賀土山IC(仮称)・信楽IC(仮称)・甲南IC(仮称)が設置されることになっています。

〈歴史あり 文化あり 産業あり〉

日本最古・最大の湖、びわ湖を擁する滋賀県の最南部に位置する甲賀市には、市の中部に旧東海道50番目の宿場町として古くから交通の要衝として栄え、碧水城と呼ばれた美しい水口城の城下町の面影を漂わせる「水口」、甲賀市北東部には、同じく旧東海道の難所、鈴鹿峠超えの馬子唄で有名な49番目あいのつちやま宿場町として栄え、お茶の産地としても有名な「土山」があります。

また、甲賀市南東部に広がる穏やかな田園風景と、緑濃い山並みが美しいエリアには、室町時代の甲賀武士団に由来する甲賀流忍者の発祥

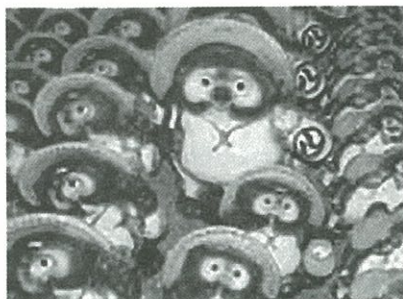


水口城址(水口町)



旧土山本陣(土山町)

の地である「甲南」、同じく忍者と甲賀売薬(家庭配置薬)の起源の地で、鹿深(かふか)の里とも呼ばれる「甲賀」があります。そして甲賀市の最南部には、745年に首都機能をもった紫香楽宮が造営され、山紫水明に育まれたお茶(朝宮)と信楽焼で有名な信楽があります。



信楽焼(信楽町)

〈忍者って何じゃ?〉

甲賀市は湖国にありながら琵琶湖に接しない独立した地域で、飯道山系を中心に山と谷が不

規則に交錯し、守るに易く攻めるに難い天然の砦となっています。

南北朝の騒乱期より室町期にかけて荘園制が崩れはじめると、小さな部落単位に土豪が生まれ、武士的性格を強めていきました。彼らは中世の混乱した社会の中で、自警的組織の必要に迫られました。

平常は農業生産力を増大して財貨を蓄え、農閑期には兵法を練って自衛力を高め、互いに牽制しました。とりわけ都からの貴紳士や落ち武者の通入が多かったので、自衛手法はより堅固となり、またその手段として諜報活動が盛んとなり、その技術が非常に進歩しました。

甲南町は飯道修験の膝元で山伏勢力の強い地域であり、望月氏をはじめ山伏の家柄を伝えているものが多くあります。彼らは飯道山の天台密教の呪法に通ずるだけでなく、すぐれた祈禱師や呪者として人々の尊敬を受け、村落生活の有力な指導者ともなりました。

応仁以後の戦乱期には独特の兵法を発揮し、しばしば戦場となった甲賀の山野を果敢に歩き回り、諜報活動や奇襲作戦の尖兵として、ゲリラ戦で特技を余すことなく発揮しました。

また武器として刀槍といった通俗的なもの以外に、農具や工具を改良して忍器を製造していました。とくにポルトガル人によってもたらされた鉄砲をいち早く火術として取り入れたことによって、この諜報の術は長足の発展を遂げました。

この諜報の術とも言える兵法武術がつまり忍術であり、甲賀の忍者は甲賀の祖先が自衛のために科学した努力の結晶とも言えます。普段は農業をしたり行商人などの姿で各地の情報を探る一方、指令が下ると戦場や、その後方に出向き工作活動に励みました。

また、甲賀忍者は忍術の流派の中でも薬の扱

いに長けており、今も甲賀に製薬会社が多いのは、その名残です。



甲賀の里 忍術村（甲賀町）

〈甲南町のみどころ〉

【甲賀流忍術屋敷】

江戸時代の元禄年間に建てられた忍者の邸宅を保存公開しています。家のどこかに忍者が潜んでいるような雰囲気、当時のままの通路落とし穴、回転戸、地下道などのからくりが随所に仕掛けられているのをガイド員が丁寧に案内してくれます。



一見普通の民家？甲賀流忍術屋敷

【忍者の里 夏祭り】

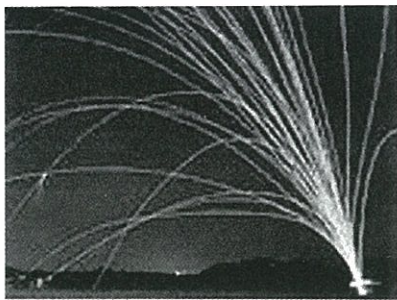
夏の大イベント。江州音頭・甲南夢行灯・手筒花火・甲南太鼓・ステージショーなどイベント多彩。



夏の夜空を焦がす忍者の里 夏祭り

【瀬古の流星】

忍者が使ったといわれる「のろし」が打ち上げられます。



ロケット花火？瀬古の流星

【六角堂】

甲南町の象徴的な建造物で、六角堂とよばれているこの地藏堂には、天命8年（1788）の棟札の写しが残されています。辻の中央に建ち、軒先には十二支を型どった瓦が見られ、道行く人々に親しまれてきました。

本尊は木造地藏菩薩立像で、杣の六地藏順拝の第一番として今も近郷の信仰を集めています。六角堂は滋賀県にわずか二棟が知られるだけで、極めて類例の少ない貴重な建造物です。



交差点の真ん中に！六角堂

【天保義民の碑】

わが町に誇るべき歴史の一つに天保義民があります。当時飢饉や政治の腐敗によって民衆の暮らしは大変苦しいものでしたが、幕府は財政の立て直しのために実際の長さより短い検地竿

を用いて検地のやり直しを行いました。

この不正な検地に対して農民たちは決死の覚悟で強訴に立ちあがりました。指導者となった庄屋の中に、市原村の田島治兵衛、深川村の田中安右衛門、杉谷村の西浦九兵衛らがいました。

天保13年（1842）10月14日未明、矢川寺（矢川神社）の鐘を合図に次々集まった数千人の農民は、検地奉行市野茂三郎がいる三上村（現野洲市）を目指して、野洲川周辺の農民を集めながら進みました。10月16日に三上村本陣に殺到し、検地中止を求め結果として「検地10万日ののべ」が発せられました。



熱き魂を今に伝える天保義民の碑

その後指導者たちは捕らえられ残酷な拷問を受け獄死、処刑されましたが、このように公儀を相手に勝利に終わった一揆は全国にも例がありません。

今、義民150年を記念した天保義民メモリアルパークが矢川橋にあり、また町内には別れの



江戸送りとなる指導者たちを見送った別れの一本松

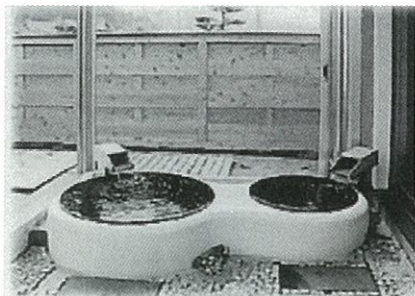
一本松などの義民ゆかりの地が多く残されています。

【塩野温泉】

開業は明治31年という甲賀忍者発祥の地の老舗温泉宿ですが、食事付きの日帰り温泉も楽しめます。

〈泉質〉 弱塩類泉

〈効能〉 胃腸病、神経痛



塩野温泉

【宮乃温泉】

露天風呂もある甲賀忍びの湯の温泉旅館で、四季折々の郷土料理が楽しめます。

〈泉質〉 含塩化土類食塩泉

〈効能〉 美肌、皮膚病、リウマチ



宮乃温泉

(平和発條株式会社 滋賀工場 吉川 正)